

そうじゃ60歳からの人生設計所を開設

問い合わせ 長寿介護課地域ケア推進係 (☎②8373)

高齢者の就労などの相談をワンストップ化

高齢者が生きがいをもつて暮らせるまちづくりを
目指して、10月9日、市社
会福祉協議会に高齢者の就
労などに関する窓口「そう
じゃ60歳からの人生設計
所」を開設しました。



講演する加藤大臣

この窓口では、市内で働
きたい・活躍したいと希
望する高齢者一人ひとりの
ニーズや技術・経験を把握
するため個別シート
を作成し、その人に
あった就労やボラン
ティア、地域活動を
マッチングしていき
ます。また、必要に
応じてセミナー・研
修会を紹介。高齢者
が望む生活を後押し
していきます。



テープカットで開設を祝う関係者

さらには、高齢者雇
用に関する情報を収
集。先進事例をまとめ、集
約された情報をもって市内
事業所を訪問し、高齢者雇
用を積極的に取り組んでも
らえるように働きかけを行
います。

開設当日は、加藤勝信
一億総活躍・働き方改革担
当大臣を招き、開設を祝い
ました。加藤大臣はその後
行われた保健福祉大会でも
登壇し、「高齢者が豊かな
人生を送り、企業にとって
も人材を活用できる仕組み
をつくっていただきたい」と
あいさつしました。

議会

9月定例会市議会で25案件を審議

問い合わせ 総務課行政係 (☎②8218)

平成27年度決算が認定

9月定例会市議会在9月5
日から29日まで、25日間の
会期で開催され、平成27年
度決算認定や平成28年度一
般会計補正予算など25案件
を審議。全て原案のとおり
可決などされました。

また、教職員の定数改善
や義務教育費国庫負担制度
の負担割合を3分の1から
2分の1に還元することを
求める意見書の提出や、平
成29年度から33年度まで
5年間、岡山市と連携中枢
都市圏の形成を図るため、
基本的な方針と役割分担を
定める連携協約の締結につ
いても可決。人権擁護委員
の候補者として小原充子さ
ん(総社)、若原寛さん(下
倉)、鳥井富子さん(井尻野)
の3人を推薦することにも
同意されました。



閉会にあたりあいさつする市長。市の発展、市民の幸せのため、意見に耳を傾けがんばっていきたくいと述べた

認定された決算は、一般
会計と特別会計、公営企業
会計の10会計。一般
会計補正予算は、水
路などへの転落防
止のための工事経
費1000万円、児
童数の増加により
常盤小学校にプレ
ハブ教室を設置す
る経費6500万
円、学校給食共同調
理場建設のための経
用地取得などの経
費3119万円、
6・7月の豪雨で被

被災した道路などの災害復旧
経費5340万円、災害時
の情報伝達手段として秋葉
山にFMくらしきの中継局
を設置し、受信エリアの拡
大を図る経費3000万円
などとなっています。

そうじゃみんなで見守るネットワーク

新たに17団体と協定を締結

問い合わせ 長寿介護課地域ケア推進係 (☎②8373)

市では、企業や事業者などと連携して高齢者
や障がい者、児童などを見守る「そうじゃみん
なで見守るネットワーク」を実施しています。

9月27日、総合福祉センターで新たに17団
体と協定を締結。官民が一体となった、より強
固なネットワークの構築を目指していきます。



協定締結団体の皆さん

岡山市と連携協約を締結

総社市と岡山市が、10月11日、連携協約
を締結しました。この連携協約は、岡山市と総
社市を含む県内8市5町の連携中枢都市圏の
形成に係るものです。産業振興や移住促進連携
事業などで連携を図り、お互いの強みを生かし、
弱みを補いながら活力あるまちづくりを進めて
いきます。



協定を締結した8市5町。総社市は、
高梁川流域連携中枢都市圏事業に続き
二つ目の連携事業となる

問い合わせ 政策調整課 (☎②8213)

